

Fusyo Collaboration letter

12月17日

No.37

文責 廣田 秀俊



自分の問いを解決しよう！今日の自分は・・・

2年生の国語の時間。子供たちが“みきの たからもの”というお話を読み込んでいきます。

『ここが好き！』の一文を見つけよう」と、長い文章からお気に入りの一文を見つけるための思考を開始しました。前時のふり返しを読み返し、今日の自分は どうしていくかを考えます。「友だちの意見を聞く時間が少なかった」という反省を活かし、交流の時間を大事にしようという思いを持っている子が多くいました。



子供たちは、お話に出てくる人物“みき”と“ナニヌネノン”の行動に注目し、お気に入りの一文を見つけていました。子供たち一人一人が文章中の人物の気持ちと行動をつなげて読み込むことで、その一文にそれぞれの思いを持って抜き出しています。お話に出てくる内容を再度確かめながら、次の6項目の問いについて考えを聞き合い、解決していこうと進めていました。

- ① 最後まで見送ったのは・・・ ② 出会ったことはひみつ・・・ ③ 小さな石がたからもの・・・
④ あせて帰ったのは・・・ ⑤ つかい方を教えたのは・・・ ⑥ 小さな石をあげたのは・・・

最初の3つは“みき”の行動から、後の3つは“ナニヌネノン”の行動から読み取っていきました。教室中を回りながら、たくさんの友だちの意見とつながっていきます。そうすることで、自分の考えがまとまっていきました。



登場人物の行動から、たくさんの考えが生まれていきました。「みきだけの友だちだから」「誰も信じてくれないだろうから」「二人だけの特別な出来事だから」「見送りが恥ずかしいから」「大切な用事があるから」「また会いたいから」など、一つ一つの項目に自分の思いを伝えていきます。こうしたやり取りを行い、この時間の自分の考えを深め、広げていくことができました。

授業の最後にこの時間のふり返しを行いました。大きく3つの事柄を振り返っていきます。1 問いを解決してみて 2 学び方について 3 ここが好きの変化。この3つをノートに黙々と綴っていく姿がありました。



「わからないことがわかってスッキリした」「みきの気持ちがよくわかるようになった」「ナニヌネノンがどんなことを考えているのかがわかった」「iPadを使って、いろんな人と意見が交換できてよかった」「時間通りにできた。次は5人の人と交流するために伝え方を工夫したい」「行動にいろいろな理由が詰まっているということがわかった」「お気に入りの一文は変わらなかったけど、今日の授業でその理由が変わって、もっと好きな一文になった」。自分の問いを解決していった子供たち。次は、みんなの問いも解決していこうという姿勢で臨んでいきます。